

葬儀情報紙 2017 9 光琳会館ニュース

総合葬祭 有限会社 ふくし葬祭
FUKUSHI SOUSAI セレニオール 光琳会館
福岡県田川郡川崎町池尻419-1
TEL 0947-46-3399



ふくし葬祭
QRコード

～お葬儀屋さんのひとりごと～

お焼香のやり方

- 浄土真宗本願寺派・・・押しただかずに1回
- 浄土真宗大谷派・・・押しただかずに2回
- 浄土宗・・・決まりなし
- 曹洞宗・臨済宗・・・2回（1回目は押しただいて、2回目はそのまま）
- 真言宗・天台宗・・・押しただいて3回
- 日蓮宗・・・決まりなし（3回）

お焼香のやり方って、いろんな人がいろんな事言うでしょ。何が大事かっていうと、基本から説明しようと思いますが、まずは数珠を右手に持つか左手に持つか？って事がありますよね。どっちに持ったら良いの？って聞かれること多いんですが、どっちに持ったら良いと思いますか？

簡単に言いますと、お焼香って右手でつかむでしょ。これは、お焼香用の香炉がそういう作りに出来ているんです。日本の伝統的な道具は右手で使うように出来ています。右手で焼香するから、待っている間はお数珠は左手で持つしかありませんよね。ねっ、簡単でしょ。じゃあ、どうやって持ったら良いの？って言ったら、こういうふうに掛けるんだ、指に通すんだ、いろんな事いう方がいるんですけど、一般的な一つ輪の数珠は、略式数珠と言います。略式ですから本式の数珠が別にある訳ですけど、まあ、略式ですから、持ち方も特に決まりがない訳です。只、保管する時は、房がふにゃふにゃにならないように、出来たら数珠袋にいれると良いですね。大事なものですから、粗末に扱わないでしっかり持ちましょう、ってのが基本の基本になります。

それで次に聞かれるのが回数のこと。これは、基本的に何回でも良いんです。これは以前、各宗派の本山に問い合わせた事があるんです。そしたら、宗派によっての違いじゃなくて、それぞれのお寺や地域によって決まりがありますから、お寺さんに聞いて下さい、って言うんですよ。只、なかなかお寺さんに聞く機会も無いですよ。一般参列者は義理でお焼香している訳なんです。儀礼として焼香していて、慣習として焼香している。お祈りしますよ。って前のお清めとして香を焚いてる。香りの良いお香で、お清めとしてお焼香している訳ですから、煙がちゃんと立てば良いんですよ。だから、1回でも3回でも良い訳なんです。式場でね「今日のお焼香は1回でお願いします」って言われれば、それに従って1回ですればいいですわね。

お香を摘んで上げるかも聞かれるんですよ。押しただくって言うんですけど、これは宗派によって上げる、上げない、っていうのがあるので、自分の宗派のやり方で良いと思いますよ。それぞれの宗派の一般的なお焼香のやり方を資料に書いていますから、参考にしてください。まあ、いろんな事を言う人がいますけど、お焼香は慣習、お付き合いとして皆さん行ってる訳ですから、信仰としてやってるのはお坊さんくらいですからね。そんなに気を使わなくて良いとおもいます。

三口で満足「酒づけ飯」

〔福島県 男性 教員 48歳〕

私の叔父は、無類の酒好きであった。量そのものは、酒豪というほどのものではなかったが、酒をこよなく愛し、毎日、その顔を見ないとおさまらない状態であった。本当は、毎食でも、酒で喉を潤してから食事をしたい位だったと思う。そんな叔父だから、当然のことながら？…「胃がん」に侵された。勿論、本人には「胃かいよう」ということで知らせてあった。手術をしたが、既に手遅れであり、病巣はそのままにして閉じた。叔父が入院中、何度か見舞ったが、その都度「もう一度、酒を思い切り飲みたい」と言っていた。次第に容態は悪化してきた。医者から「もう死を待つほかないので、病人の好むものは何でも与えて下さい」と言われた。そんなある日、叔父は、お茶づけが食べたいと言う。家人は、お茶づけの用意をしたが、私は、病院の近くの酒店から酒を購入してきて、もう、ほんの僅かしか食べないご飯に酒をかけた。お茶づけ飯でなくて、文字通り「酒づけ飯」である。

叔父は、一口食べた。きょとんとした顔をしていたが、次には、にっこりと微笑んだ。三口ほど食べてくれたが、満足し切った顔に見えた。その後、間もなくして叔父は亡くなった。

私は、あの時の酒づけ飯が、命を縮めたのか…とも考えたが、しかし、もう殆んど生きる可能性のない病人に対する、せめてもの心づかいであったと確信している。

